

pES club シナリオ 2

平成 14 年 9 月 日
虎の門病院分院 内科総合診療科
南郷 栄秀
sulzburger@amy.hi-ho.ne.jp

あなたは 3 年目の研修医で今年初めて初診外来を担当しています。ある日、外来に健診センターからの招待状を持った是捨多佳代さん（55 歳女性）がやってきました。紹介状には、「高脂血症治療依頼」とかかかれています。先日の健診で TC 278mg/dl, TG 180mg/dl, HDL-C 60mg/dl であったとも記されていました。それ以外の血算・生化学、血糖値、便潜血、尿検査、胸部単純レントゲン・心電図（安静時胸部 12 誘導）はいずれも基準範囲内でした。面接してみると特別症状はなく、既往症も冠動脈疾患の家族歴もありませんでした。身体診察上も異常所見なし、血圧は 120/65mmHg でした。患者さんの希望を聞いてみると、「まだ若いから高脂血症が早く死ぬ原因になるのなら、薬を飲んででも治したい」ということでした。

先輩に聞いたところ TC が高い場合はメバロチンとかを使うと良いよといわれ早速 10mg 分 1 夕食後を処方してこの場は何とか切り抜けました。

3 日後、三共の MR が医局にやってきてメバロチンについて話し始めました。

MR：「先生、最近高脂血症の患者さんとかいませんか？」

Dr：「ああ、先日も来ましたよ。」

MR：「高脂血症は心筋梗塞とかの原因になりますからね、うちで出しているメバロチンは心筋梗塞を減らして死亡率を下げる効果に有意差を出していますから、是非これを使ってください。」

Dr：「この間の患者さんにはそれを出しましたよ。」

MR：「ありがとうございます。で、どんな症例でした」

Dr：「健診で初めて指摘された人で TC 278 でした。」

MR：「それは高いですね。メバロチンを使うにはぴったりの症例ですね。メバロチンの効果は大規模臨床試験でも証明されていて、エビデンスが豊富なので、大変信頼性があります。一応参考にパンフレットを置いておきますので、今後も是非使ってくださいね。」

といわれて、以下のページのようなパンフレットを置いていきました。

大規模臨床試験成績

海外

参考：海外データ

これらの臨床試験は海外で実施された試験ですので、国内で承認された用法・用量とは異なっています。

動脈硬化進展抑制試験

プラバスタチンによるコレステロール低下療法を行い、動脈硬化の退縮・進展抑制効果を血管造影または超音波検査で評価。

試験名 (発表年)	症例数 (例)	観察期間 (年)	研究結果	研究者 (国名)
PLAC- I ¹⁾ (1994)	408	3	冠動脈疾患の既往のある高コレステロール血症患者に対する冠動脈硬化の進展抑制効果、心血管イベント抑制効果を証明	Pitt (アメリカ)
PLAC- II ²⁾ (1994)	151	3	冠動脈疾患の既往のある高コレステロール血症患者に対する頸動脈硬化の進展抑制効果、心血管イベント抑制効果を証明	Furberg (アメリカ)
KAPS ³⁾ (1994)	447	3	大部分が冠動脈疾患の既往のない高コレステロール血症患者に対する頸動脈硬化の進展抑制効果、心血管イベント抑制効果を証明	Salonen (フィンランド)
REGRESS ⁴⁾ (1994)	885	2	冠動脈疾患の既往のある高コレステロール血症患者に対する冠動脈硬化の進展抑制効果、心血管イベント抑制効果を証明	Bruschke (オランダ)
Meta-analysis ⁵⁾ (1995)	1,891	2~3	PLAC- I、PLAC- II、KAPS、REGRESS、4つの試験を合計して心血管イベント抑制効果を証明	Byington (アメリカ)

冠動脈疾患初発抑制試験

冠動脈疾患の既往のない症例にプラバスタチンによるコレステロール低下療法を行い、冠動脈疾患の初発抑制効果を検討。

試験名 (発表年)	症例数 (例)	観察期間 (年)	研究結果	研究者 (国名)
WOS ⁶⁾ (1995)	6,595	平均4.9	冠動脈疾患の既往のない高コレステロール血症患者に対する冠動脈疾患初発抑制効果を証明	Shepherd (イギリス)

冠動脈疾患再発抑制試験

冠動脈疾患の既往例にプラバスタチンによるコレステロール低下療法を行い、冠動脈疾患の再発抑制効果を検討。

試験名 (発表年)	症例数 (例)	観察期間 (年)	研究結果	研究者 (国名)
PMNS ⁷⁾ (1993)	1,062	0.5	高コレステロール血症に加えリスクファクターをもつハイリスク患者に対する冠動脈疾患初発・再発抑制効果を証明	Behounek (アメリカ)
CARE ⁸⁾ (1996)	4,159	5	血清コレステロールが平均レベルの患者に対する冠動脈疾患再発抑制効果を証明	Sacks (アメリカ)
LIPID ⁹⁾ (1998)	9,014	6.1	血清コレステロールが平均的レベル～軽度高コレステロール血症の患者に対する冠動脈疾患再発抑制効果を証明	Tonkin (オーストラリア)